

目 次

はじめに

第1章	障害者家族のケアと自立をめぐる議論	1
1	知的障害者のケア特性と親のケア役割への専従化	2
2	先行研究における障害者家族の自立をめぐる議論の展開	5
	「障害者の親からの解放」をめぐる議論 家族からケアを“切り離すこと”をめぐる議論 「親亡き後問題」から「親の元気なうちの問題解決」への転換をめぐる議論	
3	貧困からの把握の必要性	11
第2章	知的障害者家族の家計の把握	15
1	障害者ケアにかかる追加的費用の把握の視点と方法	15
2	日本における行政調査	18
	第1期：戦後～1950年代—社会防衛的観点・優生思想からの把握 第2期：1960・70年代—世帯への着目と生活状況の把握 第3期：1980年以降—個人への着目とニーズの把握	
3	日本の研究者による家計の把握	28
4	海外の研究者による家計の把握	31
5	小 括	32
第3章	知的障害児の生計費と世帯の家計構造	35
1	家計の有する指標性	35
	生活を把握する切り口としての家計 家計におけるやりくり	
2	知的障害児家族を対象とした家計調査の概要	41
	調査概要 分析対象者の概要	
3	知的障害児の生計費	45
	年代別支出 障害程度別の支出 きょうだいの有無との関連	
4	小 括	54
第4章	知的障害者の生計費と世帯の家計構造	61

1	知的障害者の生計費……61	
	世帯収入別支出	本人の年齢別支出 本人への優先的な支出配分
2	障害者の行動にかかる支出……72	
	所属別本人の外出にかかる費用	所属別の外出回数と外出する相手 所属別の外出先
3	障害にかかる特別な支出……79	
4	小 括……81	
第5章	ケアに引き寄せられる母親たち …………… 89	
	——就労をめぐる諸相からの考察	
1	障害者の母親の就労の考察の視点……89	
	貧困防衛手段としての就労	夫婦間での勢力関係 社会参加の機会の保障
2	調査の概要……95	
3	調査対象者……96	
4	倫理的配慮……96	
5	調査結果……96	
	障害者の母親に特有の働き方	就労の促進要因 就労の阻害要因
6	就労とケアの両立をめぐる諸相……115	
7	小 括……125	
第6章	知的障害者家族の貧困 …………… 129	
	——障害・ケア・貧困の構造的把握に向けて	
1	知的障害者家族における貧困の固有の特徴……130	
2	知的障害者家族における貧困の2段階進行……131	
3	障害者家族に生じる家族への際限のないしわ寄せ……133	
4	母親に生じる貧困リスクとエイジェンシー……134	
5	社会調査によって醸成される当事者の主体性……137	
	引用文献・資料……141	
	初出一覧……146	
	おわりに	